

現在までの交通部の経営改善計画の取組について

1 青森市総合都市交通戦略の策定（平成 21 年 10 月）

地球温暖化や高齢・人口減少社会の進行などによる交通環境の変化に対応し、人と環境にやさしい交通環境の形成を目指すため市が策定しました。

【基本方針】

- ◇市民のみならず来街者にとっても便利なバスとするため「乗りやすい、わかりやすい」バス交通ネットワークへの再編
- ◇都市構造に対応したバス交通ネットワークの整備
- ◇新幹線新青森駅や青い森鉄道駅との連携による公共交通ネットワークの形成

2 バス交通に関する戦略の策定（平成 24 年 2 月）

交通戦略の重点戦略として、持続可能なバス交通としていくため、分かりやすく利用しやすいバス路線の再編として、骨格、幹線、支線の3つに区分し、市営バスと市民バスで役割を分担することで経営の効率化を図ることとしました。

3 交通戦略実施における課題と検証

（平成 26 年 12 月都市建設常任委員会資料より）

平成 23 年度以降、計 13 路線のバス路線を再編し、市民バスの運行に切替えました。

しかし、乗り継ぎに対する地域住民の理解が得られず、ほとんどの便が市中心部へ乗り入れることとなったため、市ではバス路線再編について、一旦立ち止まり、下記の内容について、検証することとしました。

- (1) 支線の再検証
- (2) 乗り継ぎの検証
- (3) 市民理解手法の検証
- (4) 外的環境変化（地域公共交通網形成計画等）への対応等

4 公営企業の経営改善に向けた国の動向（平成 26 年 8 月）

地方財政をめぐる厳しい状況が続く中、地方公営企業の経営も厳しさを増しており、国においては、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上のための中長期的な視点に立った「経営戦略」を平成 32 年度までに策定し、廃止・民営化や広域的な連携も含めた抜本的な改革を進めるよう、自動車運送事業を含む地方公営企業に要請しています。

新たな経営改善計画の策定について

青森市（交通部）におけるこれまでの取組や現状の課題、国の要請などを踏まえ、高齢者をはじめとする市民の方々に対し、将来にわたり、安定したバス交通を提供するための視点から、既存の路線網などにとらわれることなく、本市の人口減少、少子高齢化といった公共交通の将来的な動向なども考慮しながら、以下のとおりこれまでの内容を抜本的に見直した新たな経営改善計画の策定を検討します。

主な検討項目案

I 路線の抜本的見直しの検討

利用目的や年齢構成、時間帯ごとの利用者のニーズに応じた路線や便数を検討します。

II 収益向上に向けた新たなサービスや利用負担のあり方の検討

利用者のニーズを踏まえた、収益の向上が見込まれる新たなサービスや料金体系、割引制度などの導入を検討します。

III 車両・施設等の設備投資の検討

今後の事業展望を見据えた車両や施設、設備等の投資のあり方と管理経費を検討します。

IV 民間活用策の検討

民間事業者への委託ダイヤのほか、役割分担や運行範囲なども含めた活用策を検討します。

V 効率的な組織及び人員体制の検討

事業展望に対応した効率的かつ弾力的な組織体制を検討するとともに、必要な人材の確保と育成方法を検討します。